

自由の代償 (1975)

FAUSTRECHT DER FREIHEIT
FOX AND HIS FRIENDSメディア 映画
ジャンル ドラマ
製作国 西ドイツ
色彩 Color
時間 120分
初公開日 1977/01/22
公開情報 欧日協会
映倫 PG12

【解説】

ファスビンダー自作自演による、かなりきわどい形で階級対立を描いた異色作だ。自身ホモ・セクシャルである彼がリアルに表現する“男同士”の愛は、J・アイヴォリーなどの薄められたそれに慣らされた日本の観客、特に美少年趣味の女性たちの心胆を寒からしむるものがあるやも……だが、実に力強く、見応えのある映画。気の弱い労働者階級のホモの青年フランツ（ファスビンダー）は、友人の紹介でブルジョワたちのゲイ・サークルに出入りし、そこで知り合った実業家の御曹司オイゲンと愛し合い、彼と同棲生活を始める……。これまでずっと持たざる者の苦渋を味わってきたフランツが初めて富のもたらす自由を満喫し、欲望に踊らされる様を通して、人間の醜さを冷酷にあばく、役者としてのファスビンダーの実力も光る作品だ。原題は“自由の強権”といい、なるほど、その方がもっともらしい。金で買える自由などーという作者の叫びが伝わってくる。

【クレジット】

監督	ライナー・ヴェルナー・ファスビンダー	Rainer Werner Fassbinder
脚本	ライナー・ファスビンダー クリスチャン・ホホフ	Rainer Fassbinder Christian Hohoff
撮影	ミヒャエル・バルハウス	Michael Ballhaus
音楽	ペール・ラーベン	Peer Raben
出演	ライナー・ファスビンダー ペイター・カテル イングリット・カーフェン ウーラ・ヤコブソン カール＝ハインツ・ベーム	Rainer Fassbinder Peter Chatel Ingrid Caven Ulla Jacobsson KarlHeinz Bohm